

基本目標1

力強いしごとと、安定した雇用を確保する

【政策1-1】

国内外の競争に勝ち抜く
日本屈指の農林水産業の育成

- 1-1-1 生産性の向上
- 1-1-2 担い手の育成と経営体の強化
- 1-1-3 6次産業化と物産・ブランド振興

【政策1-2】

暮らしを豊かにし、雇用を生み出す
商工業・新産業の育成

- 1-2-1 地場産業の経営力向上
- 1-2-2 商業の振興
- 1-2-3 企業誘致と起業支援
- 1-2-4 多様な就業環境の創出

【政策1-3】

自然の恵み（ジオ）の力を活かした低炭素・循環型産業の創出と経済の活性化

- 1-3-1 発電及び熱供給システムの構築
- 1-3-2 低炭素・循環型の推進
- 1-3-3 低炭素・循環型関連企業の誘致
- 1-3-4 自然の恵みを活かした地域経済の活性化

基本目標2

地域特性を活かし、新たな人の流れを創る

【政策2-1】

豊かな「雲仙ライフ」の
定着による定住・移住促進

- 2-1-1 情報発信・受入体制の強化
- 2-1-2 安心して暮らせる住まいの確保
- 2-1-3 ライフスタイルに応じた仕事の確保

【政策2-2】

「自然」と「食」と「湯のまち」の特性を活かした雲仙スタイル観光の振興

- 2-2-1 魅力的な観光商品（プログラム）の造成
- 2-2-2 受入基盤の整備・充実
- 2-2-3 情報発信・プロモーションの強化
- 2-2-4 多様な交流の実現

基本目標3

結婚・出産・子育ての希望と子どもの健やかな成長を実現する

【政策3-1】

子どもと一緒に住みたくなる
魅力あふれる子育て環境の実現

- 3-1-1 出会い・結婚支援
- 3-1-2 きめ細かな出産・育児の支援
- 3-1-3 地域ぐるみの子育て支援体制の強化
- 3-1-4 妊娠・子育てに関する経済的負担の軽減
- 3-1-5 幼児教育・保育サービスの充実

【政策3-2】

郷土を愛し、明日を担う
人材を育成する教育環境の充実

- 3-2-1 個の力に応じた確かな学力を育む教育
- 3-2-2 豊かな心と体を育み、ふるさとを想う人材育成
- 3-2-3 高等学校の魅力づくり
- 3-2-4 「雲仙プロフェッショナル」による人材育成

基本目標4

市民の健康と暮らしを守る
魅力あるまちを築く

【政策4-1】

笑顔で毎日を過ごせる
健康長寿のまちづくり

- 4-1-1 健康づくりの推進
- 4-1-2 医療・介護・福祉の充実
- 4-1-3 就労・生きがいづくり

【政策4-2】

便利で快適な生活を実現する
都市基盤整備・充実

- 4-2-1 道路整備
- 4-2-2 地域インフラ整備
- 4-2-3 公共施設再編・ストック活用

【政策4-3】

みんなで考え、実行する
市民協働のまちづくり

- 4-3-1 協働型まちづくり・地域おこし
- 4-3-2 広域連携によるまちづくりの推進

資料1

雲仙市人口ビジョン & まち・ひと・しごと創生総合戦略

ダイジェスト版

雲仙市の人口は、戦後60年間で約4割減少しました。
今、本市は人口減少が地域経済の低迷を招き、その低迷が更なる人口減少を引き起こす『負のスパイラル』に陥っている状況です。
この人口減少を克服するために総合戦略を策定しました。

雲仙市の人口

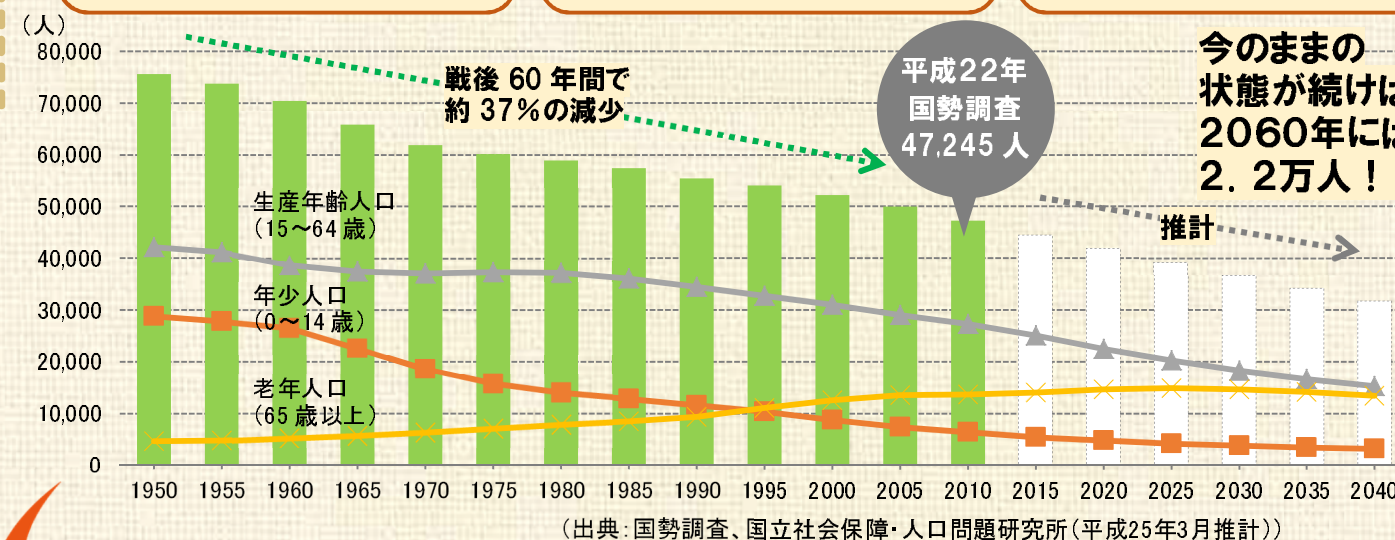
雲仙市は、国や県平均よりも速いスピードで人口減少と少子高齢化が進んでいます。この状況が続くと、将来の人口は2045年には3万人を下回り、2060年には2万2千人になるとの推計もあります。

人口減少の影響

人口減少は、消費市場の規模縮小だけでなく、人材不足や地域コミュニティの停滞など、地域社会の様々な側面に悪影響を及ぼす可能性があります。

地方創生に向けて

人口減少問題を克服し将来人口を展望する「雲仙市人口ビジョン」を定め、その将来目標を達成するための今後5ヵ年の具体的な指針となる「雲仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。



《雲仙市人口ビジョン》

子育て環境の充実による出生率の向上や定住・移住の促進により、本市の社会・経済活動に必要な人口を維持します。



まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標

基本目標1

力強いしごとと、安定した雇用を確保する

国内外の競争に勝ち抜く日本屈指の農林水産業の育成

- ・農林水産業の生産基盤となる農地、山林、漁場の整備を行うとともに、生産性・収益性の向上を図る取組みの支援を進め、生産力を高めていきます。
- ・農林水産業の基礎的資源である「ひと」の確保と育成を図りつつ、経営感覚に優れた人材の育成支援と、農林水産業経営体の組織化を進め、経営力を高めていきます。
- ・高品質「雲仙ブランド」を揃え、販売促進の強化に取り組みます。



暮らしを豊かにし、雇用を生み出す商工業・新産業の育成

- ・中小企業への経営安定化に向けた資金調達の支援や、販路拡大及び新商品開発等を支援します。
- ・空き店舗や地域商品券の発行などにより商業の振興を図ります。
- ・企業誘致活動や起業支援の推進に取り組みます。
- ・若者から高齢者までライフスタイルに応じた多様な就業環境を創出します。

自然の恵(ジオの力)を活かした低炭素・循環型産業の創出と経済・交流の活性化

- ・未利用自然資源を再生可能エネルギーとして、発電や熱利用に有効活用するための取組みを強化し、新産業を創ります。
- ・自然の恵みを活用した物産振興や観光振興に努めます。

基本目標2

地域特性を活かし、新たな人の流れを創る

豊かな「雲仙ライフ」の定着による定住・移住促進

- ・雲仙の魅力の発信と移住に係る受入体制の整備を推進し、移住促進を図る取組みを強化します。
- ・空き家や既存住宅ストックを活用した移住者向けの住まいの確保を推進します。
- ・移住希望者のライフスタイルに応じた仕事の確保を推進します。



「自然」と「食」と「湯のまち」の特性を活かした雲仙スタイル観光の振興

- ・ジオパークや温泉など雲仙市ならではの資源を活かした魅力的な観光商品づくりを推進します。
- ・公衆無線 LAN や多言語看板の整備等、観光客受入環境の整備・拡充を図ります。
- ・島原半島が一体となったセールスや PR を活発に行い、観光客の増大に努めます。
- ・コンベンションの誘致やスポーツ合宿の誘致を強化し、多様な交流を推進します。

基本目標3

結婚・出産・子育ての希望と子どもの健やかな成長を実現する

子どもと一緒に住みたくなる魅力あふれる子育て環境の実現

- ・独身男女が出会える仕組みづくりに取り組みます。
- ・妊娠・出産・子育てと切れ目のない一貫してきめ細やかな支援を行います。
- ・地域全体で子育てを支え合う体制づくりを強化します。
- ・安心して子育てができるよう、経済的負担の軽減を図ります。
- ・幼児教育・保育サービスを充実させ、安心して働ける就労環境(ワーク・ライフ・バランス)整備を推進します。

郷土を愛し、明日を担う人材を育成する教育環境の充実

- ・教育環境の整備を図り、子ども達の自発的な能力開発など、個の力に応じた学力を育む教育を推進します。
- ・豊かな心と体を育み、本市に愛着を持ってもらう教育を推進します。
- ・小浜高校、国見高校の両高校の強みを活かし、特徴ある高校づくりに向けた支援を行います。
- ・雲仙市に縁がある高度なスキルやノウハウを持つ人材を活用した多様な人材育成プログラムを展開します。



基本目標4

市民の健康と暮らしを守る魅力あるまちを築く

笑顔で毎日を過ごせる健康長寿のまちづくり

- ・各種健診の充実を図り、病気の予防と早期発見を推進します。
- ・医療・介護・福祉を充実させ安心して暮らせる体制の構築を図ります。
- ・高齢者が生きがいを持って暮らせる環境づくりを推進します。



便利で快適な生活を実現する都市基盤整備・充実

- ・地域高規格道路「島原道路」の整備のほか、利便性を向上する道路整備を推進します。
- ・快適に生活ができるよう、上下水道および住宅環境等、地域インフラの整備を推進します。
- ・公共施設など市の保有資産の維持管理や活用法策を検討します。

みんなで考え、実行する市民協働のまちづくり

- ・市民や各種団体が自ら考え実践する、協働型のまちづくりを推進します。
- ・近隣自治体との連携による定住社会の形成に努めます。



数値目標	基準値 (H26年度)	目標値 (H31年度)
農業所得 6,000千円以上	208 経営体	340 経営体
漁業生産量 (養殖:ハマチ・カキ)	275t	334t
卸売・小売事業所 平均年間販売額	66,500 千円	70,030 千円
製造事業所平均年 間製造出荷額	293,130 千円	311,450 千円
企業誘致件数	7 件	12 件

数値目標	基準値 (H26年度)	目標値 (H31年度)
社会動態 (転入者数から転出 者数を引いた数)	－311 人 (2010～2014 年 の平均)	－270 人 (2015～2019 年の平均)
観光客延数	3,629 千人	4,355 千人
延宿泊者数	621 千人	745 千人
宿泊者の 観光消費額	150 億円	192 億円

数値目標	基準値 (H26年度)	目標値 (H31年度)
婚活支援事業によ る成婚数	2 組	10 組
出生数	343 人	343 人 (現状維持)
延長保育実施園数	26 園	28 園
全国学力調査との 比較(小)	全国比 －1.8～－0.5	全国平均
全国学力調査との 比較(中)	県比 －5.4～－4.0	県平均

数値目標	基準値 (H26年度)	目標値 (H31年度)
健康寿命 (男性)※	78.74 歳(H25)	78.74 歳 (現状維持)
健康寿命 (女性)※	86.09 歳(H25)	86.09 歳 (現状維持)
定住自立圏協定	—	1 自治体

※健康寿命の算定プログラムより算定「日常動作が自立している期間の平均」(2013)